

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	阿部 知顕	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	生化学、動物発生学、神経生理学、食品微生物学、生物科学演習Ⅲ、生物科学実験Ⅲ、卒業研究、フレッシュマンセミナー（分担）、バイオサイエンスコミュニケーションⅠおよびⅡ（分担）、生物科学演習ⅠおよびⅡ（分担）、生物学実験（分担）、生物科学実験Ⅱ（分担）、生物科学実習ⅠおよびⅡ（分担）、動物学実習（分担）		公表
(2) 大学院担当科目	分子生物学特論、生命科学特別研修Ⅰ、生命科学特別演習・実験Ⅰ		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	生化学、細胞生物学	葵会仙台看護専門学校、石巻赤十字病院附属看護専門学校	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	令和4年 4月～9月	本学での生化学、生物学等の指導経験を生かし、複数の看護専門学校にて理解しやすさを重視した生化学、細胞生物学の授業を展開。	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅱ 研究活動

1－1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	細胞性粘菌の進化生態学的研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1－2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1－3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	英語	公表
	発行・発表の年月	2022年9月29日	
	形態種別	論文	
	査読	有	
	標題	Experimental Induction of Heterotrophic to Autotrophic Conversion, Realized by the Enforced Primary Endosymbiosis of Photosynthetic Bacteria onto Eukaryotic Amoebae	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Natural Science	
	掲載区分	国外	
	出版社・発行元	Scientific Research	
	巻・号・頁	14巻9号364－385頁	
	総ページ数	22頁	
	著者・共著者	Maeda, Yasuo and Abe, Tomoaki	
個人研究費課題			☒ 該当 ・ ☐ しない

著書・論文			
2	言語種別	英語	公表
	発行・発表の年月	2022年12月28日	
	形態種別	論文	
	査読	有	
	標題	Immaturin-Nuclease as a Model System for a Gene-Programmed Sexual Development and Rejuvenescence in Paramecium Life History	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Microorganisms	
	掲載区分	国外	
	出版社・発行元	MDPI	
	巻・号・頁	11巻82号1－15頁	
	総ページ数	15頁	
	著者・共著者	Nobuyuki Haga, Toshinori Usui, Yasuhiro Takenaka, Yuta Chiba and Tomoaki Abe	
個人研究費課題			☐ 該当 ・ ☒ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022年10月9日	公表
	発表テーマ	細胞性粘菌の嫌気培養：低栄養条件下での生存の可能性	
	会議名	日本細胞性粘菌学会例会	
	主催者	日本細胞性粘菌学会	
	学会区分	国内	
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	単独	
	開催期間	2022年10月8日～9日	
	発表者・共同発表者	阿部知顕	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			公表
1	受賞年月日	該当なし	
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	2008（平成20）～継続中	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト「細胞性粘菌」運営委員会委員	
	役割	運営委員	
	主催者・発行元、場所	文部科学省	
	対象		
	概要		

活動			公表
----	--	--	----

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2	期間	2018（平成30）～継続中	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト「細胞性粘菌」運営委員会委員長	
	役割	運営委員長	
	主催者・発行元、場所	文部科学省	
	対象		
	概要		

活動			公表
3	期間	2019（令和元）～継続中	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	日本細胞性粘菌学会評議員	
	役割	学会評議員	
	主催者・発行元、場所	日本細胞性粘菌学会	
	対象		
	概要		

活動			公表
4	期間	2018（平成30）～継続中	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	宮城県石巻西高等学校評議員	
	役割	学校評議員	
	主催者・発行元、場所	宮城県石巻西高等学校	
	対象		
	概要		

活動			公表
5	期間	2014（平成26）～継続中	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	日本産業カウンセラー協会産業カウンセラー	
	役割	有資格者	
	主催者・発行元、場所	日本産業カウンセラー協会産業カウンセラー	
	対象		
	概要		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	2021（令和3）～2022（令和4）	大学院委員	
2	2020（令和2）～2022（令和4）	キャンパス・ハラスメント防止委員会委員長	
3	2019（令和元）～2022（令和4）	個人情報業務責任者	
4	2018（平成30）～継続中	高大連携・石巻西高等学校担当委員	
5	2018（平成30）～継続中	学生サークル生物愛好会部長	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	准教授	阿部 博和	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	海洋生態学, 無脊椎動物学, 生物学, 自然環境論, フレッシュマンセミナーA・B, バイオサイエンスコミュニケーションⅠ・Ⅱ, 生物科学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 生物科学特別科目Ⅳ, 海洋生物学実習, 野外生物実習, 卒業研究, 生物科学実験Ⅱ・Ⅲ, 生物学実験, キャリア設計		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	アドバンスト生物	岩手医科大学	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	海産環形動物の分類・生態に関する研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	海産環形動物絶滅危惧種の特定のための網羅的 DNA バーコーディング：希少種の探索，新種記載と分類の整理，および分布情報の集積の促進	公表
	配分機関	独立行政法人 環境再生保全機構 環境研究総合推進費 ☐ 公表できない	
2	研究課題	貝類養殖における害虫多毛類の誘引・着底・穿孔のメカニズムとその起源を探索	公表
	配分機関	日本学術振興会 科学研究費助成事業（若手研究） ☐ 公表できない	
3	研究課題	海山里のつながりが育む自然資源で作るカーボン・サーキュラー・エコノミー拠点	公表
	配分機関	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST） 共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT） ☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	なし	
	標題	市販アサリにおけるマイクロプラスチック検出の試み	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	みちのくベントス	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	みちのくベントス研究所	
	巻・号・頁	(7)・70-76	
	総ページ数	7	
	著者・共著者	村上湧起, 太田尚志, 阿部博和	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

著書・論文			
2	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	短報（研究機関紀要）	
	査読	なし	
	標題	スジホシムシモドキ共生性二枚貝スジホシムシモドキヤドリガイの宮城県と青森県における記録	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	石巻専修大学研究紀要	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	石巻専修大学	
	巻・号・頁	(34)・109-114	
	総ページ数	6	
	著者・共著者	阿部博和, 小林元樹, 小田中健流, 太田尚志, 後藤龍太郎, 美濃川拓哉, 鷺尾正彦, 阿部広和, 福森啓晶	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

著書・論文			公表
3	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2023 年 2 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	あり	
	標題	Genetically isolated population of the coastal species with high dispersal potential: the case of the sentinel crab <i>Macrophthalmus japonicus</i> (Brachyura: Macrophthalmidae) in Japan	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Plankton and Benthos Research	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	日本プランクトン学会・日本ベントス学会	
	巻・号・頁	18(1)・13-20	
	総ページ数	8	
	著者・共著者	Genki Kobayashi, Hajime Itoh, Gen Kanaya, Hirokazu Abe, Shigeaki Kojima	
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない

著書・論文			公表
4	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022 年 12 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	なし	
	標題	三浦半島江奈湾から採集されたモバケヤリムシ（環形動物門多毛類ケヤリムシ科）	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	南紀生物	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	南紀生物同好会	
	巻・号・頁	64(2)・173-175	
	総ページ数	3	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	著者・共著者	西栄二郎, 阿部博和, 多留聖典, 横岡博之, 横山耕作, 浜口昌巳	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

著書・論文			
5	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022 年 12 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	なし	
	標題	大分県国東半島黒津崎の潮間帯から採集されたウバラカンムリゴカイ（環形動物門多毛類カンムリゴカイ科）	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	南紀生物	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	南紀生物同好会	
	巻・号・頁	64(2)・140-142	
	総ページ数	3	
	著者・共著者	西栄二郎，阿部博和，巻口範人，青木美鈴，上野綾子，北西滋，浜口昌巳	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

著書・論文			
6	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2022 年 12 月	
	形態種別	研究論文	
	査読		
	標題	岩手県と宮城県から採集された Cyclops kikuchi Smirnov, 1932 と C. vicinus Uljanin, 1875（カイアシ綱, キクロプス目, キクロプス科）の形態的差異	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	岩手医科大学教養教育研究年報	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	岩手医科大学教養教育センター	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	巻・号・頁	(57)・37-46	
	総ページ数	10	
	著者・共著者	菅孔太郎, 阿部博和, 佐々木あゆ, 伊藤えみ	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

著書・論文			公表
7	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022 年 12 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	あり	
	標題	岩手県沿岸におけるヤマトオサガニ個体群の初記録	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	日本ベントス学会誌	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	日本ベントス学会	
	巻・号・頁	77・54-59	
	総ページ数	6	
	著者・共著者	松政正俊, 阿部博和, 小林元樹, 鈴木孝男	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

著書・論文			公表
8	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2022 年 10 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	あり	
	標題	Polydorid species (Annelida: Spionidae) associated with commercially important oyster shells and their shell infestation along the coast of Normandy, in the English Channel, France	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Aquaculture International	
	掲載区分	国外	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出版社・発行元	Springer	
	巻・号・頁	31・195-230	
	総ページ数	35	
	著者・共著者	Waka Sato-Okoshi, Kenji Okoshi, Hirokazu Abe, Jean-Claude Dauvin	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

著書・論文			公表
9	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2022 年 8 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	あり	
	標題	Phylogenetic position of the enigmatic genus <i>Atherospio</i> and description of <i>Atherospio aestuarii</i> sp. nov. (Annelida: Spionidae) from Japan	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	PeerJ	
	掲載区分	国外	
	出版社・発行元	PeerJ, Inc.	
	巻・号・頁	10(e13909)・1-23	
	総ページ数	23	
	著者・共著者	Hirokazu Abe, Kotaro Kan	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

著書・論文			
10	言語種別	英語	公表
	発行・発表の年月	2022 年 6 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	あり	
	標題	A novel symbiotic relationship between ascidians and a new tunic-boring polychaete (Annelida: Spionidae: Polydora)	
	執筆形態	共著	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	掲載誌名	Zootaxa	
	掲載区分	国外	
	出版社・発行元	Magnoria Press	
	巻・号・頁	5159(1)・1-22	
	総ページ数	22	
	著者・共著者	HIROKAZU ABE, OSAMU HOSHINO, KAZUYUKI YAMADA, TETSUYA OGINO, SHUN KAWAIDA, WAKA SATO-OKOSHI	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

著書・論文			
1 1	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2022 年 5 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	あり	
	標題	A new species of the Spirobranchus kraussii complex, S. akitsushima (Annelida, Polychaeta, Serpulidae), from the rocky intertidal zone of Japan	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	ZooKeys	
	掲載区分	国外	
	出版社・発行元	Pensoft	
	巻・号・頁	1100・1-28	
	総ページ数	28	
	著者・共著者	Eijiroh Nishi, Hirokazu Abe, Katsuhiko Tanaka, Naoto Jimi, Elena K. Kupriyanova	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

著書・論文			公表
1 2	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	なし	
	標題	市販アサリにおけるマイクロプラスチック検出の試み	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	執筆形態	共著	
	掲載誌名	みちのくベントス	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	みちのくベントス研究所	
	巻・号・頁	7・in press	
	総ページ数	7	
	著者・共著者	村上湧起, 太田尚志, 阿部博和	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	2023 年 3 月	
	発表テーマ	北海道沿岸に産するケヤリムシ科多毛類の分類と生態	
	会議名	2023 年度日本付着生物学会研究集会	
	主催者	日本付着生物学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2023 年 3 月 28 日（火）	
	発表者・共同発表者	西栄二郎, 阿部博和, 自見直人, 田中克彦, 巻口範人	
個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない			

学会発表			公表
2	発表年月日	2023 年 3 月	
	発表テーマ	攪乱後の復旧事業とマクロベントス群集の動態	
	会議名	日本ベントス学会自然環境保全委員会主催シンポジウム「東日本大震災から 12 年, ベントス研究からみえてきた沿岸生態系の現状・課題と将来に向けて」	
	主催者	日本ベントス学会自然環境保全委員会	
学会区分	研究会・シンポジウム等		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	発表形式	口頭（招待・特別）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2023年3月26日（日）	
	発表者・共同発表者	北島周，長崎礼資，片桐耕，岩淵巽，阿部博和，小林元樹，近藤智彦，橋本茜，西岡天音，永井優貴，西谷豪，大越和加	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

学会発表			公表
3	発表年月日	2023年3月	
	発表テーマ	干潟底生生物を介した難分解性有機環境汚染物質の濃縮及び分解挙動の解明	
	会議名	日本ベントス学会自然環境保全委員会主催シンポジウム「東日本大震災から12年，ベントス研究からみえてきた沿岸生態系の現状・課題と将来に向けて」	
	主催者	日本ベントス学会自然環境保全委員会	
	学会区分	研究会・シンポジウム等	
	発表形式	口頭（招待・特別）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2023年3月26日（日）	
発表者・共同発表者	西垣敦子，大坂雄一郎，安倍聡史，Grimberugen Michel，阿部博和，田中正敦，小野里磨優，大越健嗣		
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

学会発表			公表
4	発表年月日	2022年9月	
	発表テーマ	国内における Atherospio 属未記載種（環形動物門：スピオ科）の報告とその系統的位置	
	会議名	2022年日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会	
	主催者	日本プランクトン学会・日本ベントス学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
開催期間	2022年9月2日（金）～年9月5日（月）		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

発表者・共同発表者	阿部博和，菅孔太郎	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない		

学会発表			
5	発表年月日	2022 年 9 月	公表
	発表テーマ	次世代シーケンサーを用いた簡便かつ低コストな底生無脊椎動物の DNA バーコーディング手法の検討	
	会議名	2022 年日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会	
	主催者	日本プランクトン学会・日本ベントス学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 9 月 2 日（金）～年 9 月 5 日（月）	
	発表者・共同発表者	小林元樹，阿部博和	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

学会発表			
6	発表年月日	2022 年 9 月	公表
	発表テーマ	女川湾湾奥の海底における多毛類の群集動態（2007-2022）	
	会議名	2022 年日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会	
	主催者	日本プランクトン学会・日本ベントス学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 9 月 2 日（金）～年 9 月 5 日（月）	
	発表者・共同発表者	北島周，長崎礼資，片桐耕，岩渕巽，阿部博和，小林元樹，西谷豪，大越和加	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			
7	発表年月日	2022 年 9 月	公表
	発表テーマ	干潟環境中における有機汚染物質の濃縮・分解挙動の研究	
	会議名	日本分析化学会第 71 年会	
	主催者	日本分析化学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 9 月 14 日（水）～年 9 月 16 日（金）	
	発表者・共同発表者	大坂雄一郎, 安倍 聡史, 阿部博和, 田中正敦, 小野里磨優, 大越健嗣, 西垣敦子	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

学会発表			
8	発表年月日	2022 年 9 月	公表
	発表テーマ	女川湾湾奥におけるマクロベントス群集動態について（2007-2022）	
	会議名	令和 4 年度日本水産学会 秋季大会	
	主催者	日本水産学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 9 月 5 日（月）～9 月 7 日（水）	
	発表者・共同発表者	北島 周, 長崎礼資, 片桐 耕, 岩渕 巽, 阿部博和, 小林元樹, 西谷 豪, 大越和加	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	2023年2月	公表
	発表テーマ	奇妙で不思議な海洋ベントスの世界	
	会議名	Lab. Talk Session 25	
	主催者	坂田隆（石巻専修大学）・平居高志（石巻工業高校）	
	会議区分、講演区分	その他	

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2022 年 4 月～現在	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	特定非営利活動法人 OWS 学術顧問	
	役割	助言・指導	
	主催者・発行元、場所	特定非営利活動法人 OWS	
	対象	市民団体	
	概要	特定非営利活動法人 OWS が行う干潟などの海洋環境における市民調査への助言・指導	

活動			
2	期間	2022 年 4 月～現在	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	宮城県野生動植物調査会 海岸地域の無脊椎動物類分科会 調査員	
	役割	情報提供・調査担当	
	主催者・発行元、場所	宮城県環境生活部自然保護課	
	対象	行政機関	
	概要	宮城県環境生活部自然保護課が作成する宮城県レッドリスト・宮城県版レッドデータブックのための情報提供・調査担当	

活動			
3	期間	2022 年 4 月～現在	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	福島県 ふくしまレッドリスト（2022 年版）協力者	
	役割	情報提供・調査担当	
	主催者・発行元、場所	福島県生活環境部自然保護課	
	対象	行政機関	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	概要	福島県生活環境部自然保護課が作成するふくしまレッドリスト（2022年版）のための情報提供・調査担当	
--	----	---	--

活動			
4	期間	2021年6月～現在	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	岩手県 いわてレッドデータブック改訂検討委員会専門部会 委員	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	岩手県環境生活部自然保護課	
	対象	行政機関	
	概要	岩手県環境生活部自然保護課が作成するいわてレッドデータブックの改訂のための情報提供・調査担当・報告書執筆	

活動			
5	期間	2022年4月～現在	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	環境省モニタリングサイト1000 沿岸域調査（磯・干潟・アマモ場・藻場）2008-2022年度とりまとめ作業部会 委員	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	環境省，日本国際湿地保全連合	
	対象	政府	
	概要	環境省モニタリングサイト1000 沿岸域調査（磯・干潟・アマモ場・藻場）2008-2022年度とりまとめ報告書作成のためのデータ解析・報告書執筆	

活動			
6	期間	2019年4月～現在	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	環境省 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 海域その他無脊椎動物分科会 委員	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	環境省	
	対象	政府	
	概要	環境省が作成するレッドリストのための情報提供・調査担当・報告書執筆	

活動			公表
----	--	--	----

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

7	期間	2019年4月～2023年3月	
	活動形態	学術貢献活動	
	タイトル、種別	日本ベントス学会自然環境保全委員会 委員	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	日本ベントス学会	
	対象	学協会	
	概要	日本ベントス学会自然環境保全委員会が主催・共催するシンポジウム・自由集会の企画・運営，自然環境保全に関する要望書の提出など	

活動			公表
8	期間	2020年4月～2023年3月	
	活動形態	学術貢献活動	
	タイトル、種別	日本ベントス学会 会計監査	
	役割	会計監査	
	主催者・発行元、場所	日本ベントス学会	
	対象	学協会	
	概要	日本ベントス学会の会計監査	

活動			公表
9	期間	2019年4月～現在	
	活動形態	学術貢献活動	
	タイトル、種別	日本ベントス学会英文誌「Plankton & Benthos Research」編集委員	
	役割	編集委員	
	主催者・発行元、場所	日本ベントス学会	
	対象	学協会	
	概要	日本ベントス学会が日本プランクトン学会と合同で発行する英文学術雑誌「Plankton & Benthos Research」の編集委員	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	生物科学科第一学年クラス担任	生物科学科第一学年学生の指導・メンタリング・面談など	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2			
3			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	太田 尚志	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	プランクトン学、水圏微生物学、情報活用法Ⅰ、基礎理数演習Ⅱ、フレッシュマンセミナーA・B、バイオサイエンスコミュニケーションⅠ・Ⅱ、生物科学特別科目Ⅳ、生物科学演習Ⅰ、生物科学演習Ⅱ、生物学実験、物理学実験、生物科学実験Ⅱ、野外生物実習、生物科学実習Ⅰ、生物科学実習ⅡA・ⅡB、海洋生物学実習、生物科学演習Ⅲ、生物科学実験Ⅲ、卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	海洋浮遊生物学特論、生命科学特別研修Ⅰ・Ⅱ		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	沿岸プランクトン生態系に及ぼすスギ花粉の影響評価	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	科学研究費助成事業 基盤研究C 「沿岸プランクトン生態系に及ぼすスギ花粉の影響評価」	公表
	配分機関	日本学術振興会 ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別		
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別		
	査読		
	標題	スジホシムシモドキ共生性二枚貝スジホシムシモドキヤドリガイの宮城県と青森県における記録	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	石巻専修大学 研究紀要	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	石巻専修大学	
	巻・号・頁	34 号	
	総ページ数	6 ページ	
	著者・共著者	阿部 博和、小林 元樹、小田中 健流、 <u>太田 尚志</u> 、後藤 龍太郎、美濃川 拓哉、鷲尾 正彦、阿部 広和、福森 啓晶	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	該当なし	
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2022/4/1～2023/3/31	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	北上地域まちづくり委員会	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	石巻市	
	対象		
	概要		

活動			
2	期間	2022/4/1～2023/3/31	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	北上地域自治システム運営委員会	
	役割	運営委員	
	主催者・発行元、場所	北上町	
	対象		
	概要		

活動			
3	期間	2022/4/1～2023/3/31	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	北上町大須生活改善センター運営委員	
	役割	運営委員長	
	主催者・発行元、場所	北上町橋浦大須地区	
	対象		
	概要		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

活動			
4	期間	2022/4/1～2023/3/31	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	北上中学校 PTA	
	役割	副会長	
	主催者・発行元、場所	北上中学校	
	対象		
	概要		

活動			
5	期間	2022/4/1～2023/3/31	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	北上中学校出前授業	
	役割	講師	
	主催者・発行元、場所	北上中学校	
	対象	中学生	
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	広報委員会委員長		公表
2	理工学部生物科学科主任		
3	体育会 硬式テニス部部长		
4	文化会 文芸愛好会部長		
5	文化会 写真愛好会部長		

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	角田 出	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	〔理工学部〕 基礎化学（A）、海洋脊椎動物学、魚類生理学、卒業研究、基礎理数演習Ⅱ、生物科学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 生物科学特別科目Ⅱ・Ⅳ、フレッシュマンセミナー、生物学実験Ⅰ・Ⅱ、生物科学実験Ⅰ、 生物科学実習Ⅰ、生物科学実験ⅡB、バイオサイエンスコミュニケーションⅠ・Ⅱ 〔人間学部〕 自然環境論		公表
(2) 大学院担当科目	〔理工学研究科 修士課程〕 魚類生理学特論、生命科学特別研修Ⅰ・Ⅱ、生命科学特別演習・実験Ⅰおよび実験Ⅱ 〔理工学研究科 博士後期課程〕 魚類生理病理学特論・海洋生物学セミナー・生命環境科学博士特別演習・実験		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	魚類等水族動物を主とした動物のストレスと病気・免疫系の制御，環境生物学，地域活性化	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	オリーブを活用したオリーブ銀鮭・オリーブ鶏の開発 ―地域のブランド化戦略推進に資する養殖用飼料の開発―	公表
	配分機関	令和4年度 共創研究センタープロジェクト事業 ☐ 公表できない	
2	研究課題	ギンザケ（稚魚）陸上養殖実証調査研究及び陸上養殖における再生可能エネルギー活用方法検討調査研究	公表
	配分機関	石巻市（経済産業省の補助事業） ☐ 公表できない	
3	研究課題	*****	非公表
	配分機関	***** ☒ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別		
	査読	なし	
	標題	乳酸菌の生菌および加熱死菌の経口投与が魚類の生体防御活性に及ぼす影響	
	執筆形態		
	掲載誌名	石巻専修大学研究紀要	
	掲載区分	論文	
	出版社・発行元	石巻専修大学	
	巻・号・頁	34 巻、pp. 1-6	
	総ページ数	6 ページ	
著者・共著者	角田 出・舘野 僚・高瀬 清美		
個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	2022 年 9 月 10 日	
	発表テーマ	ネオニコチノイド系農薬に曝露したメダカの行動変化	
	会議名	日本動物学会 第 93 回 早稲田大会	
	主催者	日本動物学会	
	学会区分		
	発表形式	口頭発表	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 9 月 7 日 ~ 10 日	
発表者・共同発表者	高瀬 清美, 角田 出		
個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			公表
2	発表年月日	2022 年 9 月 10 日	
	発表テーマ	ネオニコチノイド系農薬散布水田で飼育した魚類の生理機能変化 ～室内での曝露試験結果とともに～	
	会議名	日本動物学会 第 93 回 早稲田大会	
	主催者	日本動物学会	
	学会区分		
	発表形式	口頭発表	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 9 月 7 日 ～ 10 日	
	発表者・共同発表者	角田 出, 高瀬 清美	
個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			公表
1	発表年月日	2022 年 7 月 21 日	
	発表テーマ	石巻市再生可能エネルギーを活用した低コスト陸上養殖実証調査	
	会議名	第 1 回 石巻市再生エネルギーを活用した低コスト陸上養殖実証調査懇話会	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	主催者	石巻市	
	会議区分、講演区分	昨年度事業の結果報告を基にした質疑応答、および、今年度事業の実施計画提示	
講師・講演			
2	発表年月日	2022 年 10 月 24 日	公表
	発表テーマ	ギンザケ（稚魚）陸上養殖実証試験及び陸上養殖における再生可能エネルギー活用方法検討調査研究	
	会議名	第2回 石巻市再生エネルギーを活用した低コスト陸上養殖実証調査懇話会	
	主催者	石巻市	
	会議区分、講演区分	上記懇話会での進捗状況報告と同関連内容の質疑応答、および、課題や今後の実施計画提示	
講師・講演			
3	発表年月日	2022 年 12 月 14 日	公表
	発表テーマ	森と海をつなぐもの ～ 襟裳岬の自然復活劇からフルボ酸鉄、そして・・・～	
	会議名	郡山ザペリオ学園小学校 第2回特別授業	
	主催者	郡山ザペリオ学園小学校	
	会議区分、講演区分	陸養プロジェクト 第2回特別授業	
講師・講演			
4	発表年月日	2023 年 2 月 27 日	公表
	発表テーマ	ギンザケ（稚魚）陸上養殖実証試験及び陸上養殖における再生可能エネルギー活用方法検討調査研究	
	会議名	第3回 石巻市再生エネルギーを活用した低コスト陸上養殖実証調査懇話会	
	主催者	石巻市	
	会議区分、講演区分	最終報告会、および、質疑応答	
講師・講演			
5	発表年月日	2023 年 3 月 23 日	公表
	発表テーマ	ギンザケ（稚魚）陸上養殖実証試験マニュアル	
	会議名	石巻市再生可能エネルギーを活用した低コスト陸上養殖実証調査の地元産業界への説明会	
	主催者	石巻市	
	会議区分、講演区分	関連業者や市民への説明・提示	
受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			公表
2	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	開放センター委員 （産学連携部会 部会長）	10 件を超える技術相談を介して、県内企業や生産者等の課題解決に向けたアドバイスを実施するとともに、複数社に対しては課題解決に向けた調査・研究を支援・実施	
2	図書館委員		
3			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	佐々木 洋	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	海洋学、極限環境の生物学		公表
(2) 大学院担当科目	海洋生産生態学特論、海洋生産環境学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	石巻沿岸の海洋環境学	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	
*****	*****	非公表

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	有用微細藻類の大量培養	公表
	配分機関	イービス微細艘研究所 ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	論文	
	査読	あり	
	標題	Growth characteristics and fatty acids of the thermotolerant green alga <i>Desmodesmus</i> sp. isolated from a freshwater puddle in Ibaraki, Japan.	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Plankton Benthos Res.	
	掲載区分	原著論文	
	出版社・発行元	日本プランクトン、ベントス学会	
	巻・号・頁	18 巻、2 号、1-19.	
	総ページ数	19 ページ	
著者・共著者	Ishikawa-Ishiwata, Y (主著者)., Y. Nosaka, T. Usui & H. Sasaki		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

著書・論文			
2	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2023 年 2 月	
	形態種別	論文	
	査読	なし	
	標題	北極海沿岸域に生息する有殻翼足類 <i>Limacina helicina</i> の生活環	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	石巻専修大学研究紀要	
	掲載区分	原著論文	
	出版社・発行元	石巻専修大学	
	巻・号・頁	34 号	
	総ページ数		
	著者・共著者	佐々木洋、秋葉文弘	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

IV 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			公表
2	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	理工学部長	理工学部教授会の座長を務める	
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	指方 研二	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	基礎物理化学、基礎化学、基礎化学 A、生活環境科学、人間教育研究Ⅰ、人間教育研究Ⅱ、生物科学基礎演習、生物科学演習Ⅲ、生物科学実験Ⅲ		公表
(2) 大学院担当科目	応用反応化学特論、構造化学特論、物質工学特別研修Ⅰ（物質基礎）、物質工学特別研修Ⅱ（物質基礎）、物質工学特別演習・実験Ⅰ（物質基礎）、物質工学特別演習・実験Ⅱ（物質基礎）、界面物理化学特論、応用反応化学特論、機能性物質設計工学セミナー、物質機能工学博士特別演習・実験		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	電極反応過程に於ける界面構造の解析	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	1994(平成 6)年～現在	公表
	活動形態	電気化学会東北支部幹事	
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要	電気化学会東北支部の運営に協力	

活動			
2	期間	1998(平成 10)年～現在	公表
	活動形態	表面技術協会東北支部幹事	
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要	表面技術協会東北支部の運営に協力	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	2022 年 4 月～現在	キャンパスハラスメント防止委員会委員	公表
2	〃	キャンパスハラスメントに関する相談員	
3			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	柴田 清孝	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	分子生物学、遺伝子工学、サプリメント論（食環境学科） 化学実験Ⅰ、Ⅱ、食環境学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、卒業研究（食環境学科）		公表
(2) 大学院担当科目	遺伝子工学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし	該当なし	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	該当なし		
(2)	作成した教科書、教材、参考書	該当なし		
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等	該当なし		
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	該当なし		

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
該当なし				

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	ゲノム構造解析による遺伝子発現の調節機構の解明	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2023/3	
	形態種別	会議報告等	
	査読	なし	
	標題	宮城県北上川・鳴瀬川下流域に生育するヤナギ属シダレヤナギ節植物の分類学的研究のためのヤナギ園コレクションの形態および遺伝子解析	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	令和4年度東北大学植物園利用研究成果報告書	
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁	22-32	
	総ページ数	11	
	著者・共著者	小関諒介、根本智行、境 秀紀、柴田清孝	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022年12月10日	公表
	発表テーマ	北上川および鳴瀬川の下流域に生息するヤナギ科ヤナギ属シダレヤナギ節植物の分類	
	会議名	東北植物学会第12回大会	
	主催者		
	学会区分	地方学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	共同	
	開催期間		
	発表者・共同発表者	小関諒介、根本智行、境 秀紀、柴田清孝	

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
------	--	--	----

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			
2	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	遺伝子組換え実験安全主任		
2	食環境学科就職指導部委員		
3			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	准教授	鈴木 英勝	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	食品加工学、食品寄生生物学、食料問題と資源、化学実験Ⅰ、Ⅱ、情報活用Ⅱ、食環境演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、食環境実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ		公表
(2) 大学院担当科目	海洋生物ミネラル特論、海洋生物機能学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		地域マーケティングの核心—地域ブランドの構築と支持される地域づくり同友館 2019 年 に重版 松山大学 地域ブランド論、神戸松蔭女子大学 地域ブランド論、千葉商科大学 履修証明プログラムの参考書としてシラバスに紹介された	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
	該当なし			

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	地域農林水産物の生産・加工と、それらに含まれる有用成分の解析	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	石巻魚市場に水揚げされる低利用魚・鯨類の利活用	公表
	配分機関	石巻専修大学 共創研究センタープロジェクト事業 ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	石巻専修大学 令和5年3月	
	形態種別	紀要	
	査読	無	
	標題	金華山沖合域で漁獲された深海魚の筋肉と肝臓の脂肪酸について	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学研究紀要	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	石巻専修大学	
	巻・号・頁	34:77-81	
	総ページ数	4	
	著者・共著者	単著	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	令和4年9月6日	
	発表テーマ	金華山沖合いで漁獲される低・未利用底魚由来の機能性ペプチド開	
	会議名	令和4年度秋季日本水産学会	
	主催者	日本水産学会	
	学会区分	学会	
	発表形式	口頭発表	
	単独共同区分	単独	
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	令和5年1月13日	公表
	発表テーマ	怪獣は何を食べているか？	
	会議名		
	主催者	松島町立松島第一小学校	
	会議区分、講演区分	講演	
受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		
特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2016 年～現在に至る	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	日本水産学会東北支部連絡調整役	
	役割	水産学会の調整役	
	主催者・発行元、場所	日本水産学会	
	対象		
	概要		
活動			
2	期間	2015 年～現在に至る	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	宮城県石巻北高・飯野川高等学校外部評価委員	
	役割	学識者による外部評価	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		
活動			
3	期間	2017 年～現在に至る	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	石巻市河北町まちづくり協議会	
	役割	学識者による外部評価	
	主催者・発行元、場所	石巻市	
	対象		
	概要		
活動			
4	期間	2021 年～現在に至る	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	石巻市水産物地方卸売市場運営協議会委員	
	役割	学識者による外部評価 会長	
	主催者・発行元、場所	石巻市	
	対象		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	概要		
活動			
5	期間	2022 年～現在に至る	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	宮城県水産高等学校外部評価委員	
	役割	学識者による外部評価	
	主催者・発行元、場所	2015 年～現在に至る	
	対象		
	概要		
活動			
6	期間		公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	学生部委員		公表
2	高大接続研究事業担当	石巻北高校、飯野川、水産高校担当	
3	広報委員会		
4	食環境学科 2 年時クラス担任		

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	高崎 みつる	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	水質環境工学、水質浄化工学、淡水資源学		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	小型甲殻類の増養殖研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			
2	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1			公表
2			
3			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科 (食環境学科兼任)	教授	玉置 仁	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	フレッシュマンセミナー(分担), フレッシュマンセミナーA・B(分担), 生物科学基礎演習(分担), 食環境特別科目Ⅰ(分担), 環境調査法, 環境調査法基礎, 生物環境工学, 生物環境統計学, 食環境学実習Ⅰ(分担), 野外生物実習(分担), 水環境実習(分担), 化学実験Ⅰ・Ⅱ(分担), 食環境学実験Ⅰ・Ⅱ(分担), 食環境学演習Ⅰ・Ⅱ(分担), 食環境学実験Ⅲ, 食環境学演習Ⅲ, 卒業研究, 自然環境論(分担)		公表
(2) 大学院担当科目	沿岸生態工学特論, 生命科学特別研修Ⅰ・Ⅱ, 生命科学特別演習・実験Ⅰ・Ⅱ, 生態工学特論, 環境・生態学セミナー, 生命環境科学博士特別演習・実験		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫(授業研究会等を含む)		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	沿岸域生態系の保全と再生に関する研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022 年 11 月	
	形態種別	研究論文(学術雑誌)	
	査読	査読有	
	標題	宮城県万石浦におけるアサクサノリほか希少アマノリ類の生育	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	藻類	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	日本藻類学会	
	巻・号・頁	70 巻・177 – 182 項	
	総ページ数	6 ページ	
	著者・共著者	玉置仁, 村岡大祐, 鳶田智, 北山太樹, 菊地則雄	
個人研究費課題 ■ 該当 ・ □ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	2023 年 3 月 15 日	
	発表テーマ	Landsat データ解析を用いた震災後の宮城県波津々浦湾における沈降物負荷の検討	
	会議名	第 57 回 日本水環境学会年会	
	主催者	(公社)日本水環境学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2023 年 3 月 15 日 – 3 月 17 日	
発表者・共同発表者		清田玲菜、澁谷真人、丸山千賀、鈴木まゆみ、大野正貴、小瀬知洋、坂巻隆史、玉置仁	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			公表
2	発表年月日	2022 年 9 月 7 日	
	発表テーマ	攪乱条件下に造成された松島湾東部海域の人工干潟の発達過程	
	会議名	第 25 回 日本水環境学会シンポジウム	
	主催者	(公社)日本水環境学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭(一般)	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 9 月 6 日 - 7 日	
	発表者・共同発表者	玉置仁、高橋直也、小瀬知洋、坂巻隆史	
個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			公表
1	発表年月日	2022 年 12 月 20 日	
	発表テーマ	大規模災害による岩礁性藻場の攪乱とその後の変化	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	会議名	令和4年度南三陸海岸流域水循環計画推進会議	
	主催者	宮城県	
	会議区分、講演区分	地方会議，基調講演	

受賞学術賞		該当なし	公表
1	受賞年月日		
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得		該当なし	公表
1	取得国		
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	2022年8月1日－3月25日	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	令和4年度 東北地方太平洋沿岸地域生態系監視調査業務，その他	
	役割	助言・指導	
	主催者・発行元、場所	三洋テクノマリン株式会社 東北支社	
	対象	企業，行政機関	
	概要	藻場調査指導等	

活動			公表
2	期間	2021年4月～現在に至る	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	継承 奥の海 万石浦	
	役割	助言・指導, その他	
	主催者・発行元、場所	継承 奥の海 万石浦(宮城県漁業協同組合 石巻湾支所)	
	対象	その他	
	概要	万石浦の藻場等保全活動	

活動			公表
3	期間	2019年4月1日～現在に至る	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	宮城ブロック総合評価委員会委員	
	役割	助言・指導, その他	
	主催者・発行元、場所	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所	
	対象	行政機関, その他	
	概要	宮城ブロック総合評価委員会委員	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	理工学部食環境学科主任教授		
2	理工学部学科主任教授協議会委員		
3	教員資格審査委員会委員		
4	教務委員会委員		
5	情報セキュリティ管理者		
6	編入生担当(食環境学科)		
7	理工学部クラス担任(食環境2年次)		

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	准教授	辻 大和	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	生物学、生態学、野生動物保護論		公表
(2) 大学院担当科目	生態学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		石巻かほく（22.11.4, 22.10.20）、ニュース専修（22.12.15, 23.2.15）に活動が紹介された	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	石巻市内の野生動物の基礎調査	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	臭いウンチはタネを救う？－種子散布効率の再考－	公表
	配分機関	日本学術振興会（科学研究費補助金） ☐ 公表できない	
2	研究課題	Wallacea 周辺における哺乳類の進化に対する分子的研究	公表
	配分機関	日本学術振興会（科学研究費補助金） ☐ 公表できない	
3	研究課題	福島県内のイノシシ等の食性に関する研究	公表
	配分機関	福島県 ☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2023/06/01	
	形態種別	研究論文	
	査読	査読あり	
	標題	Feeding ecology of free-ranging long-tailed macaques in East Java, Indonesia: Relationship with human food availability	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Primates	
	掲載区分	国外	
	巻・号・頁	accepted	
	著者・共著者	Hasan M.U., Widayati K.A., <u>Tsuji Y.</u> , Rianti P.	
	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2023/06/01	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

著書・論文			
2	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2023/03/01	
	形態種別	速報, 短報, 研究ノート等（大学, 研究機関紀要）	
	標題	動物の交通事故死体から作製した骨格標本を用いた生物学教育	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	石巻専修大学研究紀要	
	掲載区分	国内	
	巻・号・頁	34(1),83-91 頁	
	担当区分	筆頭著者, 責任著者	
	著者・共著者	◎辻大和, 高橋夢湖, 鈴木風磨	
	言語種別	日本語	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	発行・発表の年月	2023/03/01	
個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない			

著書・論文			
3	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2022/12/22	
	形態種別	研究論文	
	査読	査読あり	
	標題	Regional variation in the feeding patterns of long-tailed macaques and the ecological determinants	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Folia Primatologica	
	掲載区分	国外	
	巻・号・頁	accepted	
	担当区分	最終著者	
	著者・共著者	Julianti S., Widayati K.A., <u>Tsuji Y.</u>	
	言語種別	英語	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

著書・論文			
4	語種別	英語	公表
	発行・発表の年月	2022/11/25	
	形態種別	研究論文	
	査読	査読あり	
	標題	Seasonal changes in dietary compositions of the Malayan flying lemur (<i>Galeopterus variegatus</i>) with reference to food availability	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Mammal Research	
	掲載区分	国外	
	巻・号・頁	68(1),pp.77-83	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	国際共著	国際共著	
	著者・共著者	Takatsuki S., <u>Tsuji Y.</u> , Prayitno B., Widayati K.A., Suryobroto B.	
	語種別	英語	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

著書・論文			公表
5	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2022/11/25	
	形態種別	研究論文	
	査読	査読あり	
	標題	Spatio-temporal patterns of vertebrate roadkills in a sub-urban area in northern Japan	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Mammal Research	
	掲載区分	国外	
	巻・号・頁	68(1),pp.85-92	
	担当区分	責任著者	
	国際共著	国際共著	
	著者・共著者	Takahashi Y., Suzuki F., <u>Tsuji Y.</u>	
			個人研究費課題 ■該当 ・□しない

著書・論文			
6	言語種別	英語	公表
	発行・発表の年月	2022/09/30	
	形態種別	研究論文	
	査読	査読あり	
	標題	Optimizing habitat connectivity among macaque populations in modern Japan	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Conservation Science and Practice	
	掲載区分	国外	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	巻・号・頁	e12824	
	著者・共著者	Enari H., Seino H., Uno T., Morimitsu Y., Takiguchi M., Suzuki K., <u>Tsuji Y.</u> , Yamabata N., Kiyono M., Akaza H., Izumiyama S., Oi T., Ebihara H., Miki K., Kuramoto M., Enari, H. S.	
	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2022/09/30	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

著書・論文				公表
7	言語種別	日本語		
	発行・発表の年月	2022/09/21		
	形態種別	速報，短報，研究ノート等（学術雑誌）		
	査読	査読あり		
	標題	糞分析による黒部峡谷のニホンザルの冬季の食性評価：予報		
	執筆形態	共著		
	掲載誌名	霊長類研究		
	掲載区分	国内		
	出版社・発行元	日本霊長類学会		
	巻・号・頁	38(2),77-84 頁		
	担当区分	筆頭著者,責任著者		
	著者・共著者	◎辻大和，菅原祐弥，柏木健司，高井正成		
				個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない

著書・論文			公表
8	語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022/07/26	
	形態種別	書評論文, 書評, 文献紹介等	
	標題	野生動物の法獣医学：もの言わぬ死体の叫び	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	哺乳類科学	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	日本哺乳類学会	
	巻・号・頁	62(2),286-287 頁	
	著者・共著者	◎辻大和	
	語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022/07/26	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

著書・論文			公表
9	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2022/07	
	形態種別	研究論文	
	査読	査読あり	
	標題	Effects of food availability and its seasonal changes on the dietary habits of wild silvery lutungs (<i>Trachypithecus cristatus</i>) in a coastal forest in West Sumatra, Indonesia	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	Folia Primatologica	
	掲載区分	国外	
	巻・号・頁	93(2),pp.107-120	
	担当区分	責任著者	
	国際共著	国際共著	
	著者・共著者	Akbar M.A., Perwitasari-Farajallah D., Rizaldi, <u>Tsuji Y.</u>	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

著書・論文			
10	種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2022/07	
	形態種別	その他	
	標題	石巻圏内における野生動物のロードキルの現状調査	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学地域連携ハンドブック（2021年度）	
	掲載区分	国内	
	巻・号・頁	35-36 頁	
	担当区分	筆頭著者	
	著者・共著者	◎辻大和	
	種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022/07	
個人研究費課題 ■該当 ・□しない			

著書・論文			
1 1	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2022/06	
	形態種別	その他 記事	
	査読	査読あり	
	標題	特集『ニホンザルの被害防除のための現場の取り組み』を組むにあたって	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	霊長類研究	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	日本霊長類学会	
	巻・号・頁	38(1),1-1 頁	
	担当区分	筆頭著者,責任著者	
	著者・共著者	◎辻大和, 江成広斗	
	個人研究費課題 □該当 ・■しない		

著書・論文			
1 2	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2022/06	
	形態種別	研究論文	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	査読	査読あり	
	標題	糞試料を用いたニホンザルの食性評価：行動観察との比較	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	霊長類研究	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	日本霊長類学会	
	巻・号・頁	38(1),25-31 頁	
	担当区分	責任著者	
	著者・共著者	菅原大暉, 辻大和	
個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない			

著書・論文			
13	言語種別	英語	公表
	発行・発表の年月	2022/04/01	
	形態種別	研究論文	
	査読	査読あり	
	標題	Seasonal variations in the assembly of dung beetles (Coleoptera: Geotrupidae and Scarabaeidae) attracted to macaque feces in temperate forests in Japan	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	The Coleopterists Bulletin	
	掲載区分	国外	
	巻・号・頁	76(2),pp.251-262	
	著者・共著者	©Tsuji Y., Matsubara, M., Sawada, K., Shiraishi, T.	
	言語種別	英語	
	発行・発表の年月	2022/04/01	
	個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

（2）学会等において発表（口頭）したもの 【石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。】

学会発表			
1	発表年月日	2023/03/21	公表
	発表テーマ	金華山島のニホンザルー結実の年変動と競争・繁殖・種子散布－	
	会議名	日本生態学会	
	主催者	日本生態学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（招待・特別）	
	単独共同区分	単独	
	招待講演	招待講演	
	開催地名	仙台	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

学会発表			
2	発表年月日	2023/03/18	公表
	発表テーマ	ニホンザルの種子散布特性の地域間比較	
	会議名	日本生態学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2023/03/17～2023/03/21	
	発表者・共同発表者	辻大和, 石塚真太郎, 江成広斗, 大谷達也, 海老原寛, 立脇隆文, 清野紘典, 鈴木崇文, 杉浦秀樹	
	発表年月日	2023/03/18	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

学会発表			
3	発表年月日	2022/11/19	公表
	発表テーマ	アカネズミと果実の利用可能性の関係	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	会議名	日本生態学会東北地区会	
	学会区分	地方学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022/11/19～2022/11/20	
	発表者・共同発表者	伊藤友仁，辻大和	
	発表年月日	2022/11/19	
個人研究費課題 ■該当 ・□しない			

学会発表			
4	発表年月日	2022/11/19	公表
	発表テーマ	ニホンザルの種子散布特性の地域間比較	
	会議名	日本生態学会東北地区会	
	学会区分	地方学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022/11/19～2022/11/20	
	発表者・共同発表者	辻大和，石塚真太郎，江成広斗，大谷達也，海老原寛，立脇隆文，清野紘典，鈴木崇文，杉浦秀樹	
	発表年月日	2022/11/19	
個人研究費課題 ■該当 ・□しない			

学会発表			
5	発表年月日	2022/09/18	公表
	発表テーマ	2021 年度冬季におけるニホンザルの洞窟利用	
	会議名	第 76 回日本人類学会大会・第 38 回日本霊長類学会大会連合大会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	国名	日本	
	開催地名	京都	
	開催期間	2022/09/16～2022/09/19	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

学会発表			
6	発表年月日	2022/09/18	公表
	発表テーマ	ニホンザルの種子散布特性の地域間比較	
	会議名	第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会	
	主催者	日本霊長類学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022/09/16～2022/09/19	
	発表者・共同発表者	辻大和、石塚真太郎、海老原寛、立脇隆文、清野紘典	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

学会発表			
7	発表年月日	2022/09/17	公表
	発表テーマ	Diet-related factors strongly shaped the gut microbiota of Japanese macaques	
	会議名	第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	国名	日本	
	開催地名	京都	
	開催期間	2022/09/16～2022/09/19	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない

学会発表			公表
8	発表年月日	2022/08/31	
	発表テーマ	二ホンアナグマの食性の長期変化	
	会議名	日本哺乳類学会	
	主催者	日本哺乳類学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022/08/26～2022/08/29	
	発表者・共同発表者	四釜佑規, 辻大和	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

学会発表			公表
9	発表年月日	2022/08/26	
	発表テーマ	小型齧歯類の個体数と果実の利用可能性の関係	
	会議名	日本哺乳類学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	発表者・共同発表者	伊藤 友仁, 辻 大和	
	発表年月日	2022/08/26	
	発表テーマ	小型齧歯類の個体数と果実の利用可能性の関係	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			
10	発表年月日	2022/07/22	公表
	発表テーマ	野生ニホンザル (<i>Macaca fuscata</i>)の食物に含まれる微量元素とその摂取量の推定	
	会議名	放射化分析及び中性子を用いた地球化学的研究	
	主催者	京都大学 複合原子力科学研究所	
	学会区分	研究会・シンポジウム等	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催地名	大阪	
	開催期間	2022/07/22	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

学会発表			公表
11	発表年月日	2022/07/02	
	発表テーマ	糞試料を用いたニホンザルの食性評価：行動観察との比較	
	会議名	2022 年度ニホンザル研究セミナー	
	学会区分	研究会・シンポジウム等	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022/07/02～2022/07/03	
	発表者・共同発表者	辻大和, 菅原大暉	
	発表年月日	2022/07/02	
個人研究費課題 ■該当 ・ □しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	2023/02/11	公表
	発表テーマ	石巻の野生動物と交通事故を考えよう	
	会議名	おしか大学	
	主催者	牡鹿半島ビジターセンター	
	会議区分、講演区分	その他	

講師・講演			
2	発表年月日	2022/11/27	公表
	発表テーマ	石巻の動物博士になろう	
	会議名	いしのまき子ども未来スクール2022 ウィンタースクール	
	主催者	石巻専修大学×ポプラ社	
	会議区分、講演区分	その他	

講師・講演			公表
-------	--	--	----

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

3	発表年月日	2022/11/08	
	発表テーマ	石巻市内で起きる野生動物の交通事故について	
	会議名	雄勝小学校学校見学	
	主催者	石巻専修大学	
	会議区分、講演区分	その他	

講師・講演			
4	発表年月日	2022/08/22	公表
	発表テーマ	生物科学科での学び	
	会議名	専大北上高校 大学訪問ツアー	
	主催者	専大北上高校	
	会議区分、講演区分	その他	

講師・講演			
5	発表年月日	2022/08/05	公表
	発表テーマ	生き物の「つながり」の科学	
	会議名	東松島高校 - 石巻専修大学 高大連携事業	
	主催者	石巻専修大学	
	会議区分、講演区分	その他	

講師・講演			
6	発表年月日	2022/05/24	公表
	発表テーマ	与えるサルと食べるシカ	
	会議名	おしか大学	
	主催者	牡鹿半島ビジターセンター	
	会議区分、講演区分	その他	

講師・講演			
7	発表年月日	2022/04/27	公表
	発表テーマ	研究とは何か	
	会議名	石巻好文館高校広大連携事業「甲斐ある人と言われたいむ」	
	主催者	石巻好文館高校	
	会議区分、講演区分	その他	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

受賞学術賞			
1	受賞年月日	2023/3/21	公表
	授与機関名	日本生態学会	
	受賞学術賞名	日本生態学会大島賞	
	受賞区分	国内学会・会議・シンポジウム等の賞	
	概要	野外における生態学的データの収集を長期間継続しておこなうことなどにより生態学の発展に寄与している 本学会の中堅会員を主な対象とした賞	

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2022/10/01～	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	宮城県自然環境保全審議会	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	宮城県	
	対象		
	概要		

活動			
2	期間	2021/8/01～	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	宮城県特定鳥獣保護管理検討・評価員会	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	宮城県	
	対象		
	概要		

活動			公表
3	期間	2000/4/01～	
	活動形態		
	タイトル、種別	日本哺乳類学会	
	役割	代議員、保護管理委員、英文誌編集委員	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			公表
4	期間	2001/7/01～	
	活動形態		
	タイトル、種別	日本霊長類学会	
	役割	評議員、英文誌 Advisory Board、経理担当幹事	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			公表
5	期間	2008/7/01～	
	活動形態		
	タイトル、種別	国際霊長類学会	
	役割	Research Committee Member	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	紀要編集委員会		
2	学生部委員会		
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	准教授	中川 繭	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	情報活用法Ⅰ、環境と科学、生物科学特別科目Ⅲ、生物科学実習ⅡA、生物学実験、生物科学実験Ⅰ、生物科学実験Ⅲ、生物科学演習Ⅰ、生物科学演習Ⅱ、生物科学演習Ⅲ、卒業研究、生物科学実習Ⅰ、フレッシュマンセミナー、植物学実習、バイオサイエンスコミュニケーションⅡ		公表
(2) 大学院担当科目	植物発生生理学特論、植物分子遺伝学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書	2023年3月	日本生物教育学会第107回全国大会にて、研究室の卒業生と共に作成した高校で実践可能な「シロイヌナズナの八重咲き変異体を用いたメンデル遺伝と分子遺伝学を視覚的につなぐ実験教材の開発」について発表した。	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	2023年1月	第一学習社発行の高等学校理科生物の資料集である『新課程 二訂版 スクエア最新図説生物』にシロイヌナズナの写真を提供。	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1－1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	外的環境による植物の草丈変化の解析	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1－2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1－3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの

学会発表			
1	発表年月日	2022 年 9 月 15 日	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			公表
2	発表年月日	2022 年 12 月 10 日	
	発表テーマ	シロイヌナズナのフィトクロム B は茎伸長の抑制およびバイオマス量の増加に働く	
	会議名	東北植物学会第 12 回大会	
	主催者	東北植物学会	
	学会区分	地方学会	
	発表形式	口頭発表	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 12 月 10, 11 日	
	発表者・共同発表者	工藤拓登・中川繭	
個人研究費課題 ■該当 ・□しない			

学会発表			公表
3	発表年月日	2023 年 3 月 5 日	
	発表テーマ	シロイヌナズナの八重咲変異体を用いたメンデル遺伝と分子遺伝学を視覚的につなぐ実験教材の開発	
	会議名	日本生物教育学会第 107 回全国大会	
	主催者	日本生物教育学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	ポスターによる口頭発表	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2023 年 3 月 4, 5 日	
	発表者・共同発表者	中川繭・菅原麻友	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

学会発表			
4	発表年月日	2023 年 3 月 15 日	公表
	発表テーマ	花茎伸長におけるフィトクロムの働き Role of phytochrome B in inflorescence stem elongation	
	会議名	第 64 回日本植物生理学会年会	
	主催者	日本植物生理学会	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭発表	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2023 年 3 月 10-17 日	
	発表者・共同発表者	工藤拓登・中川繭	
個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容

活動			公表
1	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	遺伝子組換え実験安全委員会委員		
2	FD 委員会委員		
3	毒物・劇物管理責任者		

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	准教授	奈良 英利	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	動物解剖学、動物生理学、細胞組織学、生物学実験、卒業研究、生物科学実験Ⅲ、生物科学演習Ⅲ 以下分担：自然環境論、生物科学実験Ⅱ、野外生物実習、動物学実習、生物科学実習ⅡB		公表
(2) 大学院担当科目	生命科学特別研修Ⅰ、Ⅱ、生命科学特別演習Ⅰ、Ⅱ、細胞組織化学特論、比較細胞化学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	骨格筋収縮によるマイオカインの産生とその特性	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	牡鹿半島内外のニホンジカの遺伝子解析	公表
	配分機関	合同会社日本鹿研究協会 ☐ 公表できない	
2	研究課題	免疫抑制型好中球とがん免疫促進型好中球を指標とした最適な免疫治療の TP0 の探索	公表
	配分機関	科学研究費助成事業 基盤研究（C）分担 ☐ 公表できない	
3	研究課題	牡鹿半島のニホンジカの幼角から得られる薬効成分の解析	公表
	配分機関	石巻専修大学 共創センタープロジェクト ☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022 年 8 月 22 日 筋分化課程におけるマクロファージ活性化機構 第 74 回 日本細菌学会 東北支部総会 口頭 共同 8 月 22 日、23 日 渡邊琳、奈良英利	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			
2	発表年月日	2022 年 12 月 2 日	公表
	発表テーマ	短期間の過剰運動が代謝に与える影響	
	会議名	第 45 回 日本分子生物学会	
	主催者		
	学会区分		
	発表形式	ポスター討論	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	11 月 30～12 月 2 日	
	発表者・共同発表者	堀晴香、奥貴舞、渡邊琳、斉藤真一、武田裕司、浅尾裕信、奈良英利	
個人研究費課題			☒ 該当 ☐ しない

学会発表			
3	発表年月日	2022 年 12 月 2 日	公表
	発表テーマ	筋再生過程における筋肉とマクロファージ間の IL-6 の作用機序	
	会議名	第 45 回 日本分子生物学会	
	主催者		
	学会区分		
	発表形式	ポスター討論	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	11 月 30～12 月 2 日	
	発表者・共同発表者	渡邊琳、今まりな、武田裕司、斉藤真一、浅尾裕信、奈良英利	
個人研究費課題			☒ 該当 ☐ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	国際交流センター委員	特記事項なし	
2	IR推進委員会委員	同上	
3	実験廃棄物処理委員会委員	同上	
4	遺伝子組換え実験安全委員会委員	同上	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	准教授	鳴海 史高	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	基礎化学，化学，有機化学，高分子化学，食品成分の化学，野外生物実習，化学実験Ⅰ・Ⅱ，食環境学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ，食環境学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ，食環境学実習Ⅱ，食品分析実習，卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	有機プロセス化学特論，有機材料化学特論，資源環境化学特論，精密合成化学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	カリックスアレーン類の立体制御および不斉分子認識材料への応用	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	令和4年4月～令和5年3月	図書館委員会委員	
2	令和4年4月～令和5年3月	入学試験委員会	
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	根本 智行	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	多様性生物学、植物系統分類学、保全生物学、フレッシュマンセミナー、バイオサイエンスコミュニケーションⅡ、自然環境論、生物科学実習Ⅰ、生物科学実習ⅡA、野外生物実習、植物学実習、生物学実験、生物科学実験Ⅰ、生物科学実験Ⅲ、生物科学演習Ⅰ、生物科学演習Ⅱ、生物科学演習Ⅲ、卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	系統分類学特論、系統進化学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	生物学実験Ⅱ	宮城教育大学	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	種子植物の系統分類学的研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	マメ科ハギ属の在来・外来集団の識別と分類学的再検討への MIG-seq 法の適用	公表
	配分機関	日本学術振興会：科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金） ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	調査報告書	
	査読	なし	
	標題	宮城県北上川・鳴瀬川下流域に生育するヤナギ属シダレヤナギ節植物の分類学的研究のためのヤナギ園コレクションの形態および遺伝子解析	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	令和 4 年度東北大学植物園利用研究成果報告書	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	東北大学植物園	
	巻・号・頁	22-32	
	総ページ数	11	
	著者・共著者	小関諒介・根本智行・境 秀紀・柴田清孝	
			個人研究費課題 ■ 該当 ・ □ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	2022 年 12 月 10 日	
	発表テーマ	北上川および鳴瀬川の下流域に生育するヤナギ科ヤナギ属シダレヤナギ節植物の分類	
	会議名	東北植物学会第 12 回大会（宮城大会）	
	主催者	東北植物学会	
	学会区分		
	発表形式	ポスター発表	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022 年 12 月 10 日～11 日	
	発表者・共同発表者	小関諒介・根本智行・境 秀紀・柴田清孝	
個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表		
2	発表年月日	2023 年 3 月 1 日
	発表テーマ	MIG-seq 法を用いたマメ科ハギ属の系統解析
	会議名	日本植物分類学会第 22 回大会（千葉大会）
	主催者	日本植物分類学会
	学会区分	
	発表形式	ポスター発表
	単独共同区分	共同
	開催期間	2023 年 3 月 1 日, 3 日～5 日
	発表者・共同発表者	根本智行・松尾 歩・廣田 峻・陶山佳久
		公表
個人研究費課題 ☒ 該当 ☐ しない		

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動		
1	期間	該当なし
	名称	
	区分	
	開催場所	
	発表・展示等の内容等	
		公表

IV 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2007(平成19)年度～継続中	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	植物研究雑誌編集委員	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			
2	期間	2007(平成19)年度～継続中	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	石巻市環境審議会委員	
	役割	委員長（2020(令和2)年7月1日～）	
	主催者・発行元、場所	石巻市	
	対象		
	概要		

活動			
3	期間	2011(平成23)年度～継続中	
	活動形態		
	タイトル、種別	河川水辺の国勢調査アドバイザー	
	役割	アドバイザー委員	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

活動			
3	期間	2020(平成2)年度～継続中	
	活動形態		
	タイトル、種別	鳴瀬川総合開発環境検討委員会委員	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	役割	委員
	主催者・発行元、場所	
	対象	
	概要	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	2022(令和4)年4月～2023(令和5)年3月	理工学部教務委員会委員	公表
2	2020(令和2)年4月～2023(令和5)年3月	共創研究センター長	
3	2020(令和2)年4月～2023(令和5)年3月	石巻地域連携協力推進会議委員	
4	2020(令和2)年4月～2023(令和5)年3月	石巻専修大学における公的研究費の運営・管理に関わる部局責任者	
5	2020(令和2)年4月～2023(令和5)年3月	研究活動等コンプライアンス委員会委員	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	
*****	*****	非公表

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	前田 敏輝	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	フレッシュマンセミナーA・B、物理学、運動と波動、食品レオロジー、水環境の物理学、量子物理学、化学実験、生物科学概論、食環境学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、食品工学実習、食環境学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	修士課程：応用光学特論、光物性学特論、応用物性学特論Ⅰ 博士課程：物質光工学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
該当なし				

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅱ 研究活動

1－1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	泡構造をもつソフトマターのレオロジー	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1－2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1－3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	原子力災害にかかる危機管理教育と避難計画の周知	公表
	配分機関	石巻専修大学共創研究センター ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	令和4年10月8日～令和4年10月9日	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	知の玉手箱「表面張力で遊ぼう」、サイエンスカフェ	
	役割	実演	
	主催者・発行元、場所	石巻専修大学学生会・理工学部、石巻専修大学	
	対象	小学生、中学生、高校生、社会人・一般	
	概要	大学祭における一般市民向けの科学啓蒙プログラム	

活動			
2	期間	令和4年10月25日	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	「原子力災害と避難に関する基礎知識」、セミナー・ワークショップ	
	役割	運営参加・支援、講演	
	主催者・発行元、場所	石巻市危機対策課、石巻市役所	
	対象	行政機関	
	概要	石巻市の原子力防災住民避難訓練に参加する石巻市職員46名に対して、10月25日（火）、石巻市役所においてセミナーを開催した。広域避難計画を周知と運用の現場で防災業務に従事する市職員に対して、放射線および放射性物質に関する基礎知識や、科学的な見地に立った原子力災害時の心構え、避難時にとるべき行動の意味などを解説した。	

活動			
3	期間	令和4年11月10日	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	「原子力災害時の避難計画に関する基礎的なことがらと説明用教材の紹介」、セミナー・ワークショップ	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	役割	運営参加・支援	
	主催者・発行元、場所	石巻市教育委員会、石巻市立蛇田中学校	
	対象	教育関係者	
	概要	石巻の市立学校（幼稚園、小中学校、特別支援学校等）で防災主任を担当している教員 53 名を対象として講演会を行った。放射線と放射性物質の説明に重点を置き、教員らが児童・生徒に説明する際に役立つ教材の入手方法の紹介を行った。	

活動			公表
4	期間	令和5年2月22日	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	「原子力災害と避難に関する基礎知識」、セミナー・ワークショップ	
	役割	企画、運営参加・支援	
	主催者・発行元、場所	共創研究センター、石巻専修大学	
	対象	企業、行政機関、大学生、その他	
	概要	「研究シェアリング・プログラム」（主催：共創研究センター、共催：石巻地域産学官グループ、後援：石巻市）は、学外からの18名を含む34名の出席者を得て開催された。企業、宮城県、復興庁などからの参加があった。企業や職場における原子力災害対応の重要性を再認識する機会となった。	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	研究活動等コンプライアンス委員会委員長	石巻専修大学における研究活動コンプライアンスの意識を高めるため、教職員のみならず大学院生や学部学生にも啓蒙活動を実施するとともに、不正行為や不適切な行為の防止およびそれらに適切に対応するよう規程を整備した。	
2	理工学部教務委員会委員長	理工学部の新編に伴う新カリキュラムの初年度運営に関わった。	
3	放射線障害予防委員会委員長	女川原子力発電所の再稼働をみすえ、全学生を対象として原子力防災教育を実施した。	
4	放射線取扱主任代理者		

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	宮 寄 厚	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	微生物学、植物生理学、菌類学、生物学実験(前期・後期)、生物科学実験Ⅱ、生物科学実験Ⅲ、生物科学実習Ⅰ、生物科学実習ⅡA、植物学実習、生物科学演習Ⅰ、生物科学演習Ⅱ、バイオサイエンスコミュニケーションⅡ、生物科学演習Ⅲ、特別科目Ⅳ、卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	微生物生理学特論、発生生理学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	微生物の生活を支える仕組みの解析	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022 年 12 月 10 日 接合菌類ヒゲカビの胞子発芽における温度感受性と活性酸素種 東北植物学会 第 12 回大会（宮城大会） 東北植物学会 ポスター発表 2022 年 12 月 10 日・11 日 千葉 千尋，星 友莉恵，佐藤 海名子，○宮崎 厚	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日		公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日		公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国		公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2019(令和元)年4月1日～継続中 _	公表
	活動形態	学会_	
	タイトル、種別	日本菌学会東北支部会	
	役割	事務局代表	
	主催者・発行元、場所		
	対象	支部会員	
	概要	本会にかかる会員情報・会費の管理、総会・観察会の運営、会報の編集と発行。	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	保育士・教員養成センター委員	全学における保育士・教員の免許取得に関わる事項全般の把握および審議	公表
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	山崎 達也	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	化学、無機化学、化学環境学、化学実験Ⅰ、Ⅱ、食環境学実験Ⅰ～Ⅴ、食環境学演習Ⅰ～Ⅲ、食環境学実習Ⅱ、水環境学実習、卒業研究、生物科学基礎演習（分担）		公表
(2) 大学院担当科目	無機プロセス化学特論、環境物質化学特論、複合材料化学特論、物質工学特別研修Ⅰ（物質基礎）、物質工学特別演習・実験Ⅱ（物質基礎）、物質反応化学特論、機能性物質設計工学セミナー、物質機能工学博士特別演習・実験		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	バイオエタノールの有効活用法に関する研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	該当なし	
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	2023/03/23	
	発表テーマ	Effects of Au Addition onto Pt/MFI Catalysts on Partial Oxidation of Bioethanol to Acetaldehyde	
	会議名	第 103 回日本化学会春季年会	
	主催者	日本化学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2023/03/22～2023/03/25	
	発表者・共同発表者	佐藤 慧・菅原 旭陽、菊池 尚子、山崎 達也、加藤 清楓、加藤 雅裕、吉川 卓志、和田 守	
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			公表
2	発表年月日	2023/3/23	
	発表テーマ	Pt-Rh coexistence effect on bioethanol steam reforming reaction over Pt-Rh/LaAlO ₃ catalysts	
	会議名	第 103 回日本化学会春季年会	
	主催者	日本化学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2023/03/22～2022/03/25	
発表者・共同発表者	菅原 旭陽・佐藤 慧、菊池 尚子、山崎 達也、加藤 雅裕、吉川 卓志、和田 守		
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

学会発表			
3	発表年月日	2022/11/10	公表
	発表テーマ	ZIF-8 への種々の低級炭化水素の吸着・脱離等温線の解析	
	会議名	第 35 回日本吸着学会研究発表会	
	主催者	日本吸着学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	ポスター	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022/11/10～2022/11/11	
	発表者・共同発表者	菊池 尚子, 山崎 達也	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

学会発表			
4	発表年月日	2022/12/1	公表
	発表テーマ	ゲート効果を示すいくつかの柔軟性 MOF のガス吸着・脱離 等温線の解析	
	会議名	第 38 回ゼオライト研究発表会	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	主催者	日本ゼオライト学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022/12/01～2022/12/02	
	発表者・共同発表者	山崎達也・菊池尚子・佐瀬洋人・横山寿美枝・塩谷歩美・高橋秀典・渡邊春輝	
個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			公表
1	発表年月日	該当なし	
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	7/20	公表
	活動形態	宮城県立好文館高校への出前授業	
	タイトル、種別	「研究の進め方」	
	役割	講師	
	主催者・発行元、場所	好文館高校	
	対象	生徒 38 名	
	概要	「バイオエタノール有効活用法の開発」をテーマに研究の進め方を講義	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	全学教務委員長	全学の教務について審議した。	
2	石巻専修大学学部長会・大学院委員会合同委員会委員	委員として会議に参加した。	
3	人を対象とする研究倫理審査委員会副委員長	3件の人倫理迅速審査を実施した。	
4	実験廃棄物処理委員会委員長	実験廃棄物処理に関する委員会を開催した	
5	毒物・劇物管理責任者	特になし	
6	放射線障害予防委員会委員	特になし	
7	分析センター長	予算の取りまとめなどを行った	
8	数理データサイエンス・AI（リテラシーレベル）教育の検討ワーキンググループ	数理データサイエンス（リテラシーレベル）教育の認定に対する検討を行った	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	依田 清胤	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	生命と地球、植物機能形態学、植物生態学、生物科学特別科目Ⅱ、生物学実験Ⅰ・Ⅱ、生物科学実験Ⅰ・Ⅱ、生物科学実習Ⅰ・Ⅱ、植物学実習、生物科学演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	森林生態学特論、植物生理生態学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	自然科学概論	専修大学北上福祉教育専門学校	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
該当なし				

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	樹木体内水分動態の解析	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	入試委員会進学サポート奨学生選考委員会委員長	特になし	公表
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	教授	柳 明	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	基礎生物学（基礎生物学A）、原生動物学、くらしのバイオサイエンス、自然環境論（生物学）、細胞生物学、フレッシュマンセミナーA、生物科学実験Ⅱ、生物科学実験Ⅲ、生物科学特別科目Ⅳ、生物科学演習Ⅱ、生物科学演習Ⅲ、野外生物学実習、動物学実習、卒業研究		公表
(2) 大学院担当科目	細胞生物学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	2022年4月から 2023年1月	講義の最後に、In Campus や Google Forms を利用してアンケートと小テストを実施した。これらは学生の授業理解に貢献するものと考えている。また、アンケートで質問を受け付けることにより、学生は気軽に質問できるようになった。	
(2)	作成した教科書、教材、参考書	該当なし		
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等	該当なし		
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	2023年1月25日	人間学部人間教育学科の小学校教員になる4年生と理工学部生物科学科の中学校教員になる4年生を対象に、理科実験セミナー（人間教育学科の企画）で「顕微鏡の使い方と微小な生物の観察」と題して実習を行った。	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
該当なし				

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	ゾウリムシの有性生殖過程の制御機構に関する研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	生命科学専攻主任	入学者増加に向けて広報活動に努めた。	公表
2	大学院資格審査委員会委員	特記事項なし	
3	理工学研究科専攻主任会議委員	特記事項なし	
4	就職指導委員	特記事項なし	
5	FD委員会委員	特記事項なし	
6	情報セキュリティ管理者	特記事項なし	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
理工学部	生物科学科	准教授	渡辺 正芳	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	講義 基礎数学、微分積分、線形代数、応用数学 演習・実験・実習 生物科学基礎演習、フレッシュマンセミナー、生物科学実験Ⅰ、野外生物実習 研究室関連 生物科学演習Ⅱ、生物科学演習Ⅲ、生物科学特別科目Ⅳ、生物科学実験Ⅲ、卒業研究	公表
(2) 大学院担当科目	修士課程 数理解析特論、情報数理特論 博士課程 応用解析学特論	
(3) 非常勤担当科目	科目名 該当なし	
	大学等の名称	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む） 該当なし		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書 該当なし		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等 「思い出す」から「思いつく」へ：生物科学科での数学の授業例を通して考える	2022（令和4）年 10月29日	「2022 みやぎ教育のつどい」の理科教育分科会にて、数学教育の実践例や教職セミナーの活動紹介を行った。	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項 学長裁量経費「教育改革支援助成」	2022（令和4）年 6月1日～2023（令和5）年3月 31日	「チーム iSU」で学生の主体的な学びを支援する：教職セミナーの運営 教員を目指す学生と協力して、理科の勉強会や模擬授業・集団討議の練習などを行った。2020年度は3名が現役合格、2021年度は一浪で3名が合格、2022年度は2名全員が合格した。	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
該当なし				

Ⅱ 研究活動

1－1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	数理生物学、幾何学、科学教育	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1－2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1－3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	2022（令和4）年10月29日	公表
	発表テーマ	「思い出す」から「思いつく」へ：生物科学科での数学の授業例を通して考える	
	会議名	2022 みやぎ教育のつどい	
	主催者	2022 子どもの未来をひらく みやぎ教育のつどい実行委員会	
	会議区分、講演区分	会議区分：その他、講演区分：講師	

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	ホームページ委員会委員	生物科学科ブログを運営し、情報の収集・拡散に務めた。	
2	ダンス愛好会部長	特記事項なし	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表
